

1868.3 **五か条の御誓文** 【新政府の方針】外交… **開国和親**内政… **広ク会議** おろ ヲ興シ、ほうき 万機 **公論** けつ ニ決スヘシ原案… **由利公正** ゆり きみまさ、福岡孝弟「列侯会議」れつこう正案… **木戸孝允** きど たかよし が修正→「広ク会議」

由利公正の原案が「列侯会議」（大名や公家に限定）だったのを木戸孝允が、「広ク会議」と書き換えました。
ユリコはレイコ（列侯）、木戸はヒーロー（広ク）

1868.3 **五榜の掲示** 【民衆統治の方針】君臣・父子・夫婦の儒教道徳、ととう・びょうそ 徒党・強訴禁止、**キリシタン(切支丹)** 禁止

江戸幕府の政策と変わらず。民衆に「べつに変わらない」という安心を与えました。
ゴボウ切った（五榜の掲示で切支丹禁止）

1868.4 **浦上信徒 弾圧事件**

江戸初期から長崎の五島列島の浦上にいた隠れキリシタンがフランス人宣教師プチジャンが1865年に来たときに信仰告白しました。五榜の掲示の翌月に新政府は3394人を逮捕し拷問にかけた大事件です。キリスト教国である欧米列国が強く抗議しました。

1868.4 **政体書**

五箇条の御誓文の理想を政治体制に具体化したものです。王政復古で仮に設置した三職を廃止して、

【中央】 **太政官** だいじょうかん を設置して中央集権アメリカ流の **三権分立** の形高級官僚は **公選**（互選）

理想高かったが、慣れずにうまく使いこなせず。
制度設計もいろいろと不具合がありました。

【地方】 **府藩県3治制**

徳川から奪った新政府直轄領700万石には府か県。
諸藩の藩領はそのまま。中央集権と封建制が併存。

1868.4 **慶應義塾** 設置 福沢諭吉「ペンは剣よりも強し」1868.5 **彰義隊** 壊滅

1868.5 全国紙幣の **太政官札** だいじょうかんさつ を発行
不換紙幣。新政府に信用もないので、価値が不安定な全国紙幣でした。単位は両・分・朱です

→のちに **民部省札** みんぶしょうさつ も発行1868.7 江戸を **東京** と改称 天皇移動。1868.9 慶応→明治と **改元**いつせいいちげん **一世一元の制** せい を制定1868.11 **新潟** 開港1868.12 **太政官札** だいじょうかんさつ 時価適用令だいじょうかんさつ 太政官札120両で小判100両に1869.6 **版籍奉還** 【土地人民を天皇に奉還】 木戸孝允

諸藩が支配していた版（土地）と籍（戸籍。人民のこと）を天皇にお返しすることです。欧米列強に追いつき、追いこすためには、天皇のもとに中央集権国家を作る必要があるという認識は広く共有されていました。

• **薩長土肥** さつちゅうどひ 4藩主が率先して奉還• 旧藩主は **知藩事** ちはんじ に任命

1869.6 身分制度の再編

• 大名・公家を廃して **華族** かぞく と改称。• 旧武士身分を **士族** しぞく それ以外を **平民** へいみん1869.7 **開拓使** かいたくし 設置、蝦夷地を **北海道** と改称1869.12 東京横浜間に **電信** 開通 前島密（1円切手）1870.9 平民に **苗字使用** みょうじ 許可1870.10 **工部省** こうぶしょう 設置 工業化推進1871.1 郵便制度。 **前島密** まえじまひそか 建議1871.4 **新貨条例** 貨幣制度を統一あ **十進法** を採用、単位は **円**。

1両 = 4分 = 16朱の4進法は外国人には理解しにくく
1円 = 100銭、1銭 = 10厘の十進法にしました。

い **金本位制**

純金を1.5グラム含む1円金貨 = 1ドル金貨
貿易では銀貨も使われました（金銀複本位制）

1871.2 最新鋭1万の **御親兵** 設置

薩摩・長州・土佐3藩から合計1万の兵を献上させました。
司令官は西郷です。たとえ薩摩出身の御親兵でも、薩摩が反乱したら政府のために鎮圧する新政府直属の軍隊です。

1871.7 **廃藩置県** 300弱の藩を全て廃止して国直轄の県としました。

• 大久保、木戸、西郷らが

藩の意向に反して 実行した変革。

• 西郷「逆らう藩は御親兵でやっつけるでござす」

• **島津久光** しまづひさみつ 教怒「西郷・大久保は不忠者ぞ！」ふちゅうもの• 旧藩主（知藩事）は **東京に居住強制**

旧藩主は藩収入の1割が約束されました。50万石の藩は年貢率が五公五民としても収入は25万石に過ぎず、それで家臣に俸禄を支払ったり行政費や軍費や借金利払い、災害復旧に使うと大名本人には1万石も残りませんでした。大名個人は廃藩置県の被害者ではなく、明確な最大の利得者です。

だいじょうかんさんいんせい 太政官三院制 せいしん 正院・右院・**左院** ういん に再編
最高機関、行政機関、公論の言論機関

1871.12 **岩倉遣欧使節団** 出発岩倉、アメリカ無事到着を **電信** で東京に瞬時に報告1868.3 五箇条の御誓文 **午後成績** しかと 拝見

1868.3 五榜の掲示

1868.4 政体書

1869.6 版籍奉還

1871.4 新貨条例（新貨幣 **円** を採用）

1871.7 廃藩置県

1871.12 岩倉遣欧使節団出発